

第103回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日 時 平成25年 9月19日(木) 午後13時30分～午後14時40分

場 所 清水マリナーミナル 3階会議室

出席委員 角替弘志委員長、望月紀久朗委員、遠藤前穂委員、河村節子委員、大脇隆一委員、杉山滋朗委員、湯本昌人委員、飯田一晴委員

欠席委員 無し

進 行

1. 開 会
2. 審議番組 概要説明 審議番組聴取 18分
3. 審 議
4. 放送予定、次回予定、その他
5. 閉 会

審議番組

トワイライト・ナビ(木曜日)『エフエム熱海湯河原とのクロストーク』

9/5(木)、9/12(木) 放送(2週分)

制作担当 高野 裕紀子

番組概要

エフエム熱海湯河原と互いの生放送中に電話をつなぎ、パーソナリティーの掛け合いでそれぞれの地域で行われるイベントを紹介するコーナー。日帰りや一泊旅行で立ち寄れるイベントや催し物を中心に紹介しています。

番組審議内容

角替委員長

審議挨拶、各委員からの意見を伺います。

望月委員

放送時刻が午後5時50分で、パーソナリティーが「こんにちは」なのか「こんばんは」なのかを迷っている場面があり、季節感が出ていた。互いの地域の特徴が出ていた。

遠藤委員

先方パーソナリティーの「うん、うん」「そうだね」という相槌が雑に聞こえた。

薪能の紹介をした際、残席数を聞かれ、「多分大丈夫」と回答していたが、不親切に聞こえた。不明な場合は「分かりません」と言った方が良い。

飯田委員

イベントのチラシを見て紹介しているだけで内容が薄い印象を受けた。また「くわしくはホームページで・・・」と繰り返していたが、パソコンが不得意なリスナーもいると思うので、問合せ先電話番号も紹介すべきと感じた。

河村委員

形だけの紹介に聞こえる。パーソナリティーの掛け合いもちぐはぐ感があった。
イベントについて、もう少し内容を良く知っておく必要がある。

大脇委員

内容としては、互いの地域の交流のきっかけとなると思う。
前振りの天気の話が長く、くどい感じがあった。本題に早く入って、そのぶん日程や問合せ先などを繰り返した方が良い。

杉山委員

このコーナーはいつも聞いている。手作り感があって良い。時間があつたら熱海に行こうか、という気持ちになる。

湯本委員

熱海の人に清水を紹介し観光に来てもらうことを目的にしているコーナーだと思う。パーソナリティーはそこを意識してイベントの場所などの説明をしてもらいたい。

角替委員長

相手側の電話のノイズが気になるが、何とかならないのか。

(技術担当より回答) 専用回線を引けば解消できるが、一般回線を使用しているのでどうしてもノイズが入ってしまう。費用が掛けられないため、仕方ないと考えます。

審議番組とは直接関係ないが、9月16日の台風18号接近の際にはどのような対応をしたのか教えてほしい。

(編成担当より回答) 当日の朝6時と6時30分に通常のCS放送を中断して台風関連情報を放送しました。7時以降のレギュラー番組でも、気象情報、交通・鉄道情報を中心に終日台風関連情報を放送しました。

次回は、11月21日(木) 13:30開催予定以上